

# 学校関係者評価委員会

日時：2023年3月16日（木）13:00～

## 1. カリキュラム評価

### 1) 講義評価総括

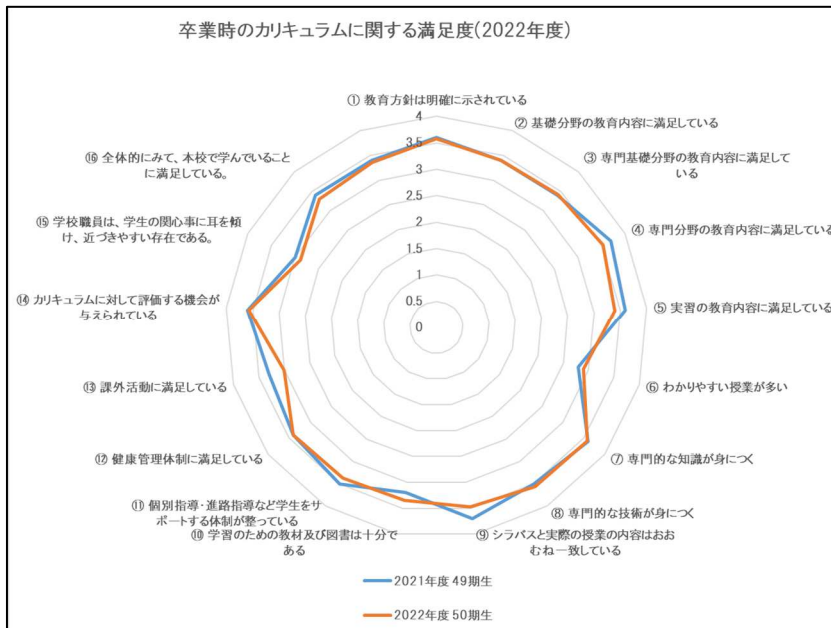
学生による講義評価の平均は3.5であり昨年度より上昇した。概ね講義科目の満足感は得られている。新カリキュラムでは、アクティブラーニングなど学生が主体的に学習を進めることができる授業方法が求められている。本年度の講義評価項目では「理解を助けるような教材・資源の活用」「科目目標に対して適切な課題」などが昨年度より上昇している。次年度も学生の学習環境に応じて主体的に学べる授業方法の工夫ができるように検討していく。次年度の1年生から電子教科書を導入する。より効果的なICT教育、情報リテラシー教育の強化が今後の課題である。

### 2) 実習科目評価

学内外の実習施設と協同し、学生が学習しやすい実習環境を整えている。COVID19の感染状況によって臨地で実習ができない時期もあったが、学生に不利益が及ばないように実習配置を変更し対応した。今年度は母体病院の実習指導者とともに、臨地実習指導の質の向上を目指す目的で実習指導案の作成に取り組んだ。この指導案を活用して実習指導を実践し、評価・修正を重ねて、より質の高い実習指導を目指す。

## 2. 卒業時カリキュラムに関する満足度調査

2022年度の総合平均は3.4であり、多くの学生は当校のカリキュラムに満足して卒業している。しかし「わかりやすい授業が多い」「学校職員は、学生の関心事に耳を傾け、近づきやすい存在である」については、例年評価が低い傾向にあり学校の課題として取り組んでいる項目である。教育理念の「主体性」「判断力」「人間性」の教育について外部講師にも伝え、これらを意識して学生を育てていく。教職員は学生にアサーティブなコミュニケーションを心がけ対応している。また、学生から様々な出来事に対しての学校からのフィードバックがないという意見があった。今後の課題として取り組んでいく。



評価項目	① 教育方針は明確に示されている	② 基礎分野の教育内容に満足している	③ 専門基礎分野の教育内容に満足している	④ 専門分野の教育内容に満足している	⑤ 実習の教育内容に満足している	⑥ わかりやすい授業が多い	⑦ 専門的な知識が身につく	⑧ 専門的な技術が身につく	⑨ シラバスと実際の授業の内容はおおむね一致している	⑩ シラバスと実際の授業の内容はおおむね一致している	⑪ 個別指導・進路指導など学生をサポートする体制が整っている	⑫ 健康管理体制に満足している	⑬ 課外活動に満足している	⑭ カリキュラムに対して評価する機会が与えられている	⑮ 学校職員は、学生の関心事に耳を傾け、近づきやすい存在である	⑯ 全体的にみて、本校で学んでいることに満足している	平均
50期生	3.6	3.4	3.4	3.5	3.4	2.9	3.6	3.6	3.5	3.3	3.4	3.4	3.0	3.6	2.9	3.3	3.4
49期生	3.6	3.4	3.4	3.7	3.6	2.8	3.6	3.5	3.7	3.2	3.5	3.4	3.3	3.6	3.0	3.4	3.4